

# 長野高専環境都市工学科による「大石沢目鏡橋」の測量・調査

国立長野高専環境都市工学科の学生たちが、測量や調査などの専門技術を学び、将来の職業を考える機会として、平成27年11月5日 東御市滋野の市指定文化財 大石沢眼鏡橋を測量、調査しました。この取り組みは、長野高専、一般社団法人 長野県測量設計業協会、土木・環境しなの技術支援センターの共同で行う授業で、1昨年からはじめ、今年で3回目の取り組みです

当日はこれ以上ないという晴天に恵まれ、9時半からの開校式に続き、学生44名は6班にわかれて、川、道路、目鏡橋の調査や測量に取り組みました。

作業終了後、午後3時からの成果発表では、学生たちから途中成果の発表があり、実際の構造物を測量する難しさなどの感想がありました。

指導した測量設計業協会の技術者の皆さんからも、一緒に測量ができて、改めて技術の面白さを感じたとの声がありました。

当日は開校式に東御市建設課、教育委員会から励ましの言葉をいただき、現地整備にご協力を頂いた上田建設事務所にも途中参加していただきました。

また、この文化財を守っている地元滋野の方にも終日参加していただきました。さらに調査中に近所の方から、眼鏡橋建設に関する明治時代の文書を見せてもらう 思わぬハプニングもありました。

今後、学校には今回の成果を調査報告書にとりまとめる作業をお願いしましたので、その成果が市や地元などへ届けられるよう、取り組みを学校とともに進めてきます。

関係の皆様のご支援、ご協力をありがとうございました。



学生に測量作業を指導する長測協の技術者



目鏡橋上流坑口の測量調査作業



各班から測量調査成果の発表